

# 理論編

## 評価計画作成の手順

..... P 1 7 ~ P 2 4

# 評価計画作成の手順

## 保健体育科の目標作成はどう進めていくのですか？

- (1) 各学校では、学校目標等を達成するために各教科の特性に応じて目標が設定され、その目標達成に向けた教育活動が展開されます。保健体育科でも学校目標等を受け、心と体を一体として捉えることを重視しながら、保健体育科が学校目標等のどの部分を担っていくかを吟味して教科の目標を設定します。そして、その目標を達成できるような学習内容を組み立て、その実現状況を評価していく必要があります。
- (2) 保健体育科の目標を設定する際に、学校の状況や生徒の状況等を把握するためのアンケート調査や身体状況調査などを行い、学習指導要領に示されている目標を踏まえ、各学校における保健体育科の目標作成に反映させていくことが大切です。

### 【目標作成の手順】例

#### 生徒の状況を把握するためのアンケート内容

##### 興味・関心、経験に関する内容

- ・ 運動などの楽しさ、好き、嫌い、健康・安全への意識など
- ・ 日頃の運動の程度
- ・ 仲間との関わり経験（協力・教え合い・励まし合いなど）
- ・ 運動の有能感

##### 運動の技能や体力に関する内容

- ・ 経験した運動の種類と程度  
(実際の技能はペーパーでは見取れません)

##### 運動の学び方や思考・判断に関する内容

- ・ ねらいや課題を意識して取り組んでいるか
- ・ 工夫して運動に取り組んでいるかなど

##### 知識・理解に関する内容

- ・ 運動の特性やルールの知識と理解の程度
- ・ 運動の行い方に関する知識や理解の程度



運動の楽しさを深く味わう生徒  
健康や体力を意識して、体力を高めていく生徒  
自分の運動や健康の課題解決を目指して取り組んでいける生徒  
仲間と協力し、教え合ったり、励まし合ったりしながら学習できる生徒

目指す生徒の姿は...!

学習指導要領に示されている目標

保健体育科の目標

体育・保健の目標

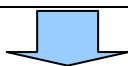
各学年ごとの目標

生徒の実態  
保護者の願い  
教師の思い

## 学校目標等から保健体育科の目標を導く例

### 【学校目標等】

各学校が組織として重点的に取り組む「学校目標」とそれを実現するための「取り組み内容」を併せた「学校目標等」の設定



### 【保健体育科の目標】例

主体的に生涯スポーツの実践者となる生徒の育成を目指す。

生涯にわたって運動に親しむことができるようにする。

自己の健康に興味・関心を持ち、健康を管理できる力及び体力の向上に取り組む力を育成する。

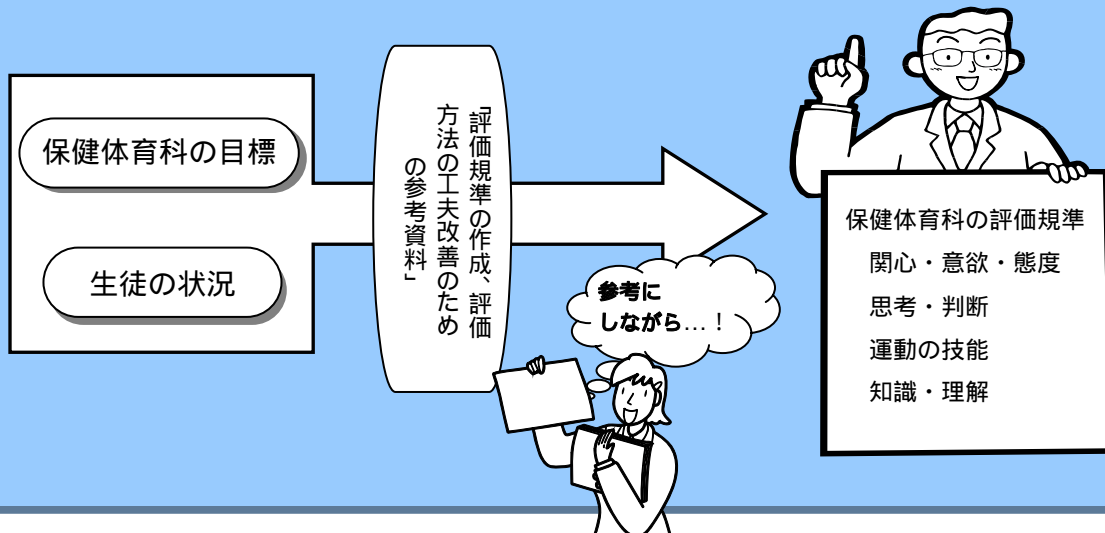
自ら学び自ら考え、課題を解決していくことができる力を育成する。

望ましい人間関係が形成できる力を育成する。

## Q 保健体育科の評価規準を作成していく手順は？

設定した保健体育科の目標に対して指導したことが、生徒にとって効果的なものであったかどうか、目標は目指す生徒像を反映してのものであったか等を見取るために、国立教育政策研究所教育課程研究センターの「評価規準の作成、評価方法の工夫改善のための参考資料」を基に、各学校で設定した保健体育科の目標と生徒の状況との結び付きを持たせ、「関心・意欲・態度」「思考・判断」「運動の技能」「知識・理解」の4観点で目標に準拠した評価規準を作成し、保健体育科が果たさなければならない教育の実現を目指して観点別に評価していくことが大切です。

### 保健体育科の目標から評価規準を作成していくポイント



## 目標と評価規準をどう結び付けるのですか？

各学校で設定した保健体育科の目標と生徒の状況を結び付け、次に示すように4観点（保健は3観点）で評価規準を作成していきます。

### 【保健体育科の目標】例

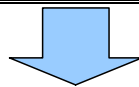
**主体的に生涯スポーツの実践者となる生徒の育成を目指す。**

生涯にわたって運動に親しむことができるようにする。

自己の健康に興味・関心を持ち、健康を管理できる力及び体力の向上に取り組む力を育成する。

自ら学び自ら考え、課題を解決していくことができる力を育成する。

望ましい人間関係が形成できる力を育成する。



### 評価の観点及びその趣旨

関心・意欲・態度	思考・判断	運動の技能	知識・理解
運動の楽しさや喜びを深く味わうことができるよう自ら進んで計画的に運動しようとする。また、個人生活や社会生活における健康・安全に関心を持ち、意欲的に学習に取り組もうとする。	自己の能力と運動の特性に応じた課題の解決を目指して、運動の合理的な行い方や計画的な活動の仕方を考え、工夫している。また、個人生活や社会生活における健康・安全について、課題の解決を目指して考え、判断している。	自己の能力と各種の運動の特性に応じた技能を高め、運動の楽しさや喜びを深く味わうとともに、体力を高めるための運動の合理的な行い方を身に付けている。	生活における運動の意義や必要性及び運動の特性と合理的な行い方を理解し、知識を身に付けている。また、個人生活及び社会生活における健康・安全について、課題の解決に役立つ基礎的な事項を理解し、身に付けている。

(国立教育政策研究所教育課程研究センター「評価規準の作成、評価方法の工夫改善のための参考資料」より)

### 目標と評価規準の結びつき例

目 標	評価の観点
運動の楽しさや喜びを深く味わえる力の育成	<ul style="list-style-type: none"> <li>運動の楽しさや喜びを深く味わうことができるよう自ら進んで計画的に運動しようとする。 (関心・意欲・態度)</li> <li>運動の楽しさや喜びを味わうとともに、体力を高めるための運動の合理的な行い方を身に付けている。 (運動の技能)</li> </ul>
課題を解決していくことができる力の育成	<ul style="list-style-type: none"> <li>課題の解決を目指して、運動の合理的な行い方や計画的な活動の仕方を考え、工夫している。 (思考・判断)</li> </ul>
自己の健康を管理できる力の育成	<ul style="list-style-type: none"> <li>個人生活及び社会生活における健康・安全について、課題の解決に役立つ基礎的な事項を理解し、身に付けている。 (知識・理解)</li> </ul>



## 学年ごとの体育・保健の目標作成はどう進めていくのですか？

- (1) 保健体育科の目標を受けて、学習指導要領に示されている目標、体育・保健の科目の特性、各学年で取り扱う内容等に照らし合わせて、**3年間の系統性と発展性**を考慮して体育・保健の目標と評価規準を作成することが大切です。
- (2) 体育・保健の目標を設定する際に、学校の状況や生徒の状況等を把握するためのアンケート調査や身体状況調査などを行い、**3年間を見通した**学年ごとの体育・保健の目標を設定していくことが大切です。



( P 15 の目標作成の手順図参照 )

### 保健体育科の目標から学年別の体育・保健の目標を導く例

#### 【保健体育科の目標】例

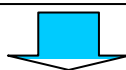
主体的に生涯スポーツの実践者となる生徒の育成を目指す。

生涯にわたって運動に親しむことができるようにする。

自分の健康に興味・関心を持ち、健康を管理できる力及び体力の向上に取り組む力を育成する。

自ら学び自ら考え、課題を解決していくことができる力を育成する。

望ましい人間関係が形成できる力を育成する。



#### 【1学年の目標】例

基礎的な運動技能を身に付け、運動する楽しさや喜びを味わえるようにする。

自分の健康に興味・関心を持ち、体力の高め方を身に付けながら、運動できるようにする。

適切な意志決定、行動選択の重要性を理解できるようにする。

学び方を身に付け、活動の仕方を工夫して運動できるようにする。

自分やグループの課題解決を目指して、教え合い、励まし合いながら運動できるようにする。

#### 【2学年の目標】例

身に付けた技能を高めながら、運動する楽しさや喜びを味わえるようにする。

健康を意識し、自分に合った体力の高め方を身に付けながら、運動できるようにする。

健康について科学的に思考したり、判断したりできるようにする。

自分やグループの課題解決を目指し、活動の仕方を工夫して、運動できるようにする。

自分の役割を意識し、仲間と教え合い、励まし合いながら運動できるようにする。

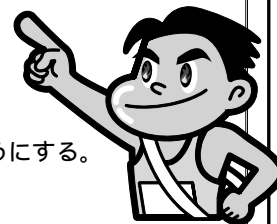
#### 【3学年の目標】例

自分が選択した運動の特性に応じた楽しさや喜びを深く味わいながら運動できるようにする。

身に付けた技能で、自分の体力や生活に応じて運動できるようにする。


運動の特性に応じた課題解決の仕方を工夫し、計画的に運動できるようにする。

身に付けた力を発揮しながら、仲間と協力し、教え合い励まし合いながら運動できるようにする。



## Q 各学年の体育・保健の評価規準を作成していく手順は？

評価規準作成の手順に沿って立案した各学年ごとの体育・保健の目標に基づいて、体育の評価規準は「関心・意欲・態度」「思考・判断」「運動の技能」「知識・理解」の4つの観点で、保健の評価規準は「関心・意欲・態度」「思考・判断」「知識・理解」の3つの観点で、目標に準拠した評価規準を作成していくこととなります。そして、それらの観点それぞれについても目標の達成状況を評価していくことが大切です。

 (P16 の評価規準作成のポイント図参照)

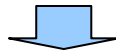
## Q 各学年の目標と評価規準をどう結び付けるのですか？

各学校で設定した保健体育科の目標と生徒の状況を結び付け、次に示すように評価規準を作成していきます。

### 目標と評価規準の結びつき例

#### 【1学年の目標】例

基礎的な運動技能を身に付け、運動する楽しさや喜びを味わえるようにする。  
 自分の健康に興味・関心を持ち、体力の高め方を身に付けながら、運動できるようにする。  
 適切な意志決定、行動選択の重要性を理解できるようにする。  
 学び方を身に付け、活動の仕方を工夫して運動できるようにする。  
 自分やグループの課題解決を目指して、教え合い、励まし合いながら運動できるようにする。



### 各科目の評価の観点及びその趣旨

科目名	関心・意欲・態度	思考・判断	運動の技能	知識・理解
体育	運動の楽しさや喜びを深く味わうことができるよう自ら進んで運動をしようとする。また、公正、協力、責任などの態度を身に付けるとともに、健康・安全に留意して運動をしようとする。	自己やグループの能力と運動の特性に応じた課題の解決を目指して、活動の仕方を考え、工夫している。	自己の能力と運動の特性に応じた課題の解決を目指して運動を行うとともに、運動の技能を高めている。また、自己の体力や生活に応じて体力を高めるための運動の合理的な行い方を身に付けている。	社会の変化とスポーツ、運動の技能の構造と運動の学び方、体ほぐしの意義と体力の高め方に関する基礎的な事項を理解し知識を身に付けている。
保健	個人生活や社会生活における健康・安全に関心を持ち、意欲的に取り組もうとする。	個人生活や社会生活における健康・安全について課題の解決を目指して考え、判断している。		個人生活及び社会生活における健康・安全について、課題の解決に役立つ基礎的な事項を理解し、知識を身に付けている。

(国立教育政策研究所教育課程研究センター「評価規準の作成、評価方法の工夫改善のための参考資料」より)

## 目標と評価規準の結びつき例

目 標	評価の観点
自分の健康に興味・関心を保ち……	・(保健)…個人生活や社会生活における心身の健康や安全に関心を持ち、自ら健康で安全な生活を実践するため、意欲的に取り組もうとしている。(関心・意欲・態度)
適切な意志決定、行動選択の重要性について理解する。	・(保健)…適切な意志決定を行い、選択すべき行動を適切に判断している。(思考・判断)
課題解決を目指して、	・(保健)…健康・安全の意義を理解するとともに…課題の解決に役立つ基礎的な事項を理解し、知識を身に付けている。(知識・理解) ・(保健)…心身の健康や安全に関する課題の解決を目指して…(思考・判断)
学び方を身に付け…	・(体育)…能力と運動の特性に応じた課題の解決を目指して、活動の仕方を考え、工夫している。(思考・判断)
…教え合い、励まし合いながら…	・(体育)…公正、協力、責任などの態度を身に付けるとともに…(関心・意欲・態度)
体力の高め方を身に付けながら、…	・(体育)…体力の高め方に関する基礎的な事項を理解し知識を身に付けている。(知識・理解)

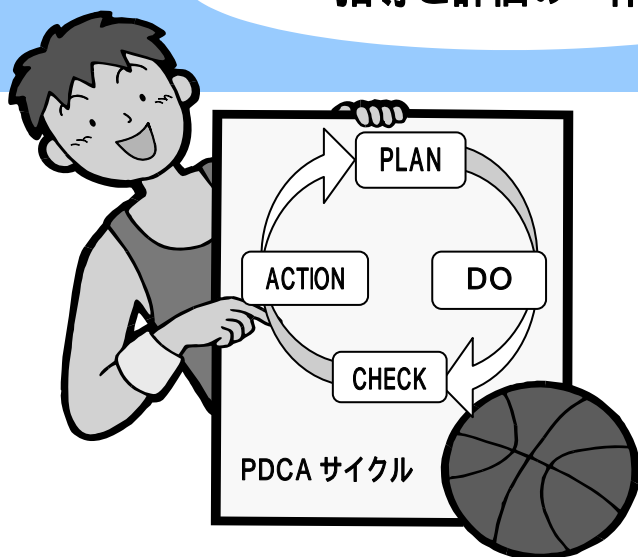
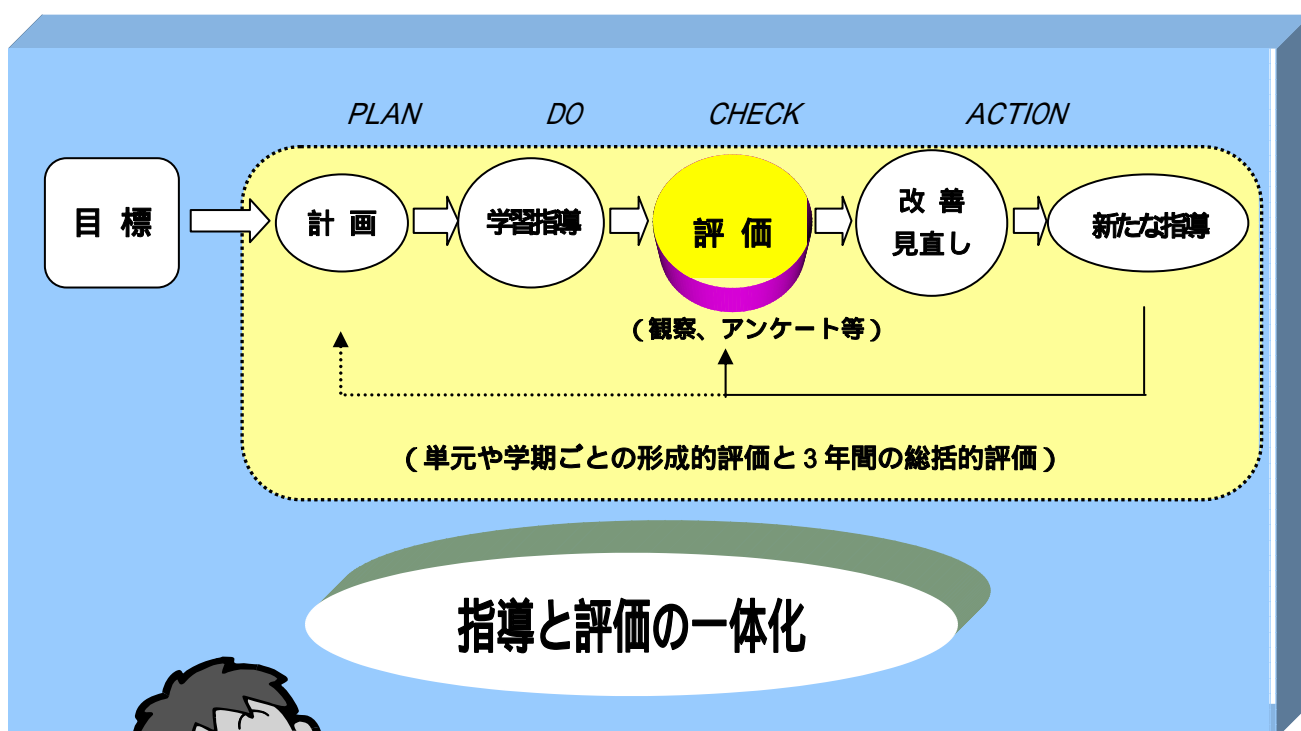


## 🗨️ 目標の振り返りはどのように行うのですか？

学校における教育活動は、計画(PLAN) 実践(DO) 評価(CHECK) 改善(ACTION)という一連の活動を伴って展開されます。したがって、学習指導の過程における具体的な評価を工夫し、目標に対しての生徒の到達度を適切に評価し、評価の結果によってその後の指導を改善し、さらに新しい指導の成果を再度評価することが求められています。

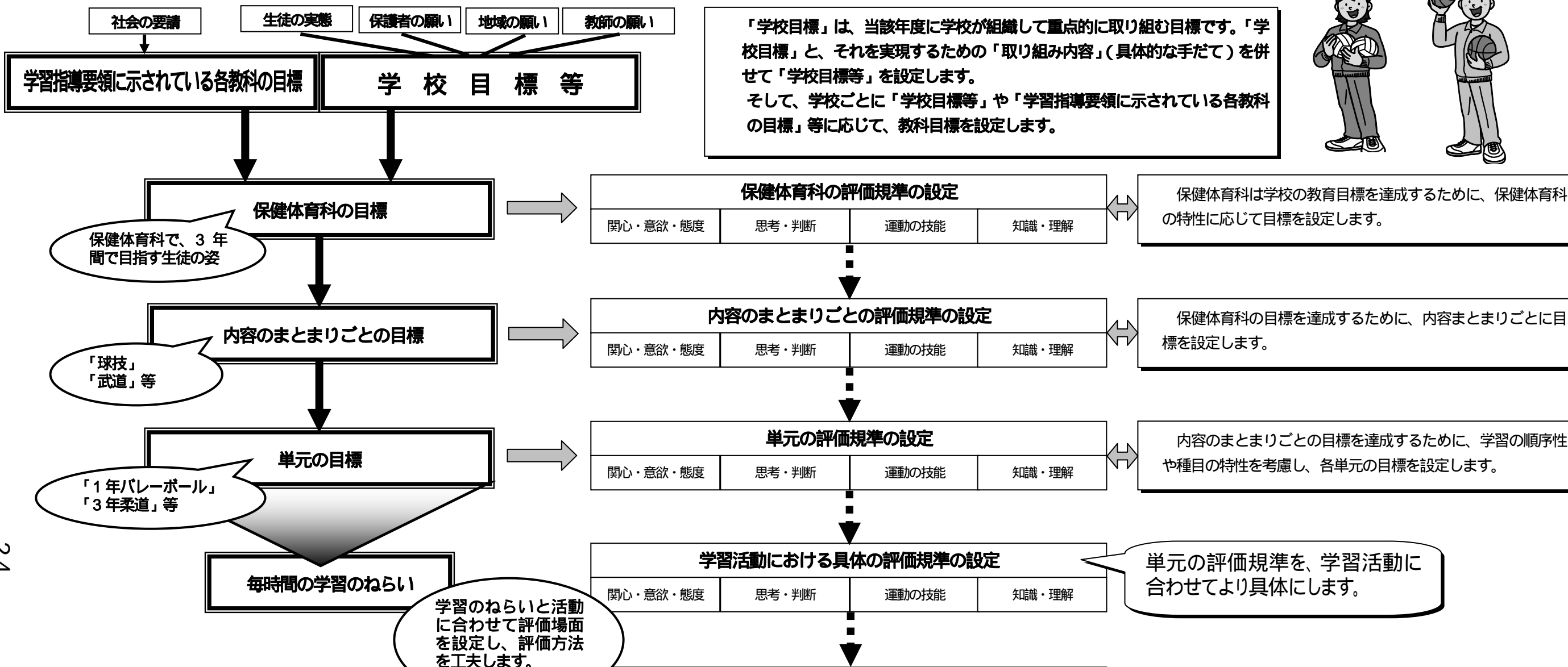
設定した目標の振り返りにおいても、それぞれの目標に照らして行っていく指導の中で、生徒にどのような成果を身に付けさせることができたか、学習の組み立てはどうか等を把握するために、形成的評価として、学期ごとや単元ごとに観察からの状況をまとめたり、アンケート調査等を行ったりします。また、3年間の総括的な評価として、学期ごとや年度ごとに観察からの状況をまとめたり、アンケート調査等を行ったりします。そしてそれらを多面的、多角的に分析して振り返り、その結果を目標設定や学習指導計画に反映させ、生徒への支援のあり方や学習の組み立て等の改善を図っていくことが大切です。

このような一連の評価活動のサイクルを図に示すと次のようになります。





# 評価規準作成の手順



保健体育科の評価規準の設定

関心・意欲・態度	思考・判断	運動の技能	知識・理解
----------	-------	-------	-------

内容のまとめりごとの評価規準の設定

関心・意欲・態度	思考・判断	運動の技能	知識・理解
----------	-------	-------	-------

単元の評価規準の設定

関心・意欲・態度	思考・判断	運動の技能	知識・理解
----------	-------	-------	-------

学習活動における具体的評価規準の設定

関心・意欲・態度	思考・判断	運動の技能	知識・理解
----------	-------	-------	-------

具体的な評価の工夫例

関心・意欲・態度	思考・判断	運動の技能	知識・理解
<b>方法</b> 観察・質問 問いかけ・学習カード・学習ノート 等	<b>方法</b> 観察・質問 問いかけ・学習カード・学習ノート・レポート・質問紙 等	<b>方法</b> 実技テスト・スキルテスト・発表会・ゲーム 等	<b>方法</b> ペーパーテスト・レポート・学習ノート 等
<b>場面</b> 毎時間の学習中	<b>場面</b> 毎時間の学習中	<b>場面</b> 学習経験やこれまでの習得状況 学習途中、まとめ	<b>場面</b> 学習途中の小テスト 定期テスト 等



生徒の成長に役立つ評価!

授業の改善に役立つ評価!